

公園に
カワイイ
子猫がいたよ

今日、大雨が降る
みたいだし、かわいそう
だから連れてきたら？

ちょっと待って！
保護するって、
自分で飼うの？

近くに親猫が
いるかもしれないし
よく考えたら？

あなたの手で
殺処分を減らす
ことができます

殺処分ゼロに向けた、新たな取り組み 子猫の命をつなぐ 「ミルクボランティア」

福岡市は「犬猫の殺処分ゼロ」を目指しています。持ち込まれる数が最も多い離乳前の子猫は、職員だけでは飼育することが難しいため、市民ボランティアの力を借りる「ミルクボランティア」制度(*)を始めました。

※福岡市獣医師会(市獣)との共働事業

ミルクボランティアとは？

福岡市東部動物愛護管理センター「あにまるぽーと」に持ち込まれた離乳前の子猫を預かり、2～3時間おきの哺乳や排泄(はいせつ)の補助を行い、離乳する生後2か月ごろまで飼育する「登録ボランティア」のこと。離乳後の子猫は、新しい飼い主が見つかるまで「あにまるぽーと」と市獣の病院で飼育されます。



ミルクボランティアに参加するには

ミルクボランティアは登録制で現在25組が登録中(平成30年2月時点)。登録にはいくつかの要件がありますが、申し込み後、研修会の受講、職員による飼育環境の確認などを経て登録完了です。

- 必要な物資(ミルク・ケージなど)は全て支給または貸与されます
 - 市獣の病院での受診料等の費用負担はありません
 - 2～3時間おきの哺乳や、排泄の補助などの世話が必要です
- 登録についての詳細は、「あにまるぽーと」(☎092-691-0131)に問い合わせを。



ミルクボランティアに育てられた猫の飼い主になるには

ミルクボランティアに育てられた猫は、初めての人でも育てやすいよう、右記の処置済みで譲渡されます。

- ノミ、ダニ、内部寄生虫駆除
- 混合ワクチン接種
- マイクロチップ挿入
- 譲渡後に6か月齢で不妊去勢手術(市獣の病院で実施)



殺処分ゼロに向けて

福岡市は「殺処分ゼロ」を目指していますが、持ち込まれる犬猫がいる限り殺処分はなりません。特に子猫の場合、親猫が近くにいる可能性も高いので、自分で保護できないのであれば、安易に手を出さないようにしましょう。

【殺処分ゼロを達成するために必要なこと】

- 野良猫に無責任なエサやりをしない
- 猫は屋内で飼育する
- 不妊去勢手術の徹底 など

野良猫問題の解決が「殺処分ゼロ」につながります！